

国語

名前 _____

【知識】

☆☆☆

① 漢字冊子を進める

「入試問題 20 問×3 枚」のプリントが 1 回の授業の確認テストの範囲となります。毎回の範囲については、教材の巻末に次回の漢字テストの範囲を記載します。これを「右半分を隠して演習→一画一画見比べながら○付け→直し」というように学習しましょう。なお、プリントは一定期間分をまとめて配付いたします。

② 重要語句 555 の学習を進める

第 1 回 G 模試は 1～185、第 2 回 G 模試は 186～370、第 3 回 G 模試は 371～555 までのものが範囲となっています。毎回の授業での確認テストの実施はありません。

また、語彙に興味を持って親しんでもらうことを目的とした動画を用意しました。動画で映像を見ることを通じて、語彙に親しみ、面白さに触れてもらったり、意味の理解を深めていったりしてほしいと思います。冊子に掲載した QR コードからそれぞれの動画をご視聴いただけます。

【文章読解】

取り組み方については、教材の巻末に記載します。初回国語授業のみ、この家庭学習レポートの裏面にも記載してあります。

☆☆☆

① 授業の復習

② 宿題を解く

☆☆(授業で演習①③を扱うクラス)

③ 演習②を解く

☆(授業で演習②③を扱うクラス)

③ 演習①を解く

担当からの連絡

6 年生のレギュラー授業はクラスにより演習①または演習②のいずれかを扱う形となります。①が標準～応用レベル、②が基礎～標準レベルとなっております。クラスによっては授業ごとに演習が変更になる可能性があります。

宿題は 2 本演習がある場合と 1 本の場合がございます。

宿題①(・宿題②)の部分のみ解説もつけておりますので、家庭学習の際の参考にしてください。

宿題の取り組み方、授業の解き直しの取り組み方、確認テストの次回範囲等につきましては、教材の巻末に記載しております。なお、初回国語授業時のものにつきましては、この家庭学習レポートの裏面にも記載しております。ご確認ください。

6 年生の家庭学習レポートの配付は毎回ではありません。上記にありますように教材の巻末にて宿題の取り組み等、記載してまいります。

次回の授業までの宿題

【共通】

☆☆☆

・漢字

次回の国語授業では「漢字テスト②—1～②—3」のテストを実施します。

・重要語句 555

第1回 G 模試は1～185、第2回 G 模試は186～370、第3回 G 模試は371～555までのものが範囲となっています。毎回の授業での確認テストの実施はありません。

・授業の復習（間違い直し）

メモを見返しながら文章を読み返し、説明文の場合は文章の内容や筆者の主張、対比されている内容等を、物語文の場合は場人物の関係や気持ち、またその変化等を振り返りましょう。その後、授業中に間違えた問題等について下記のように取り組むことをおすすめします。

〔記号問題〕

授業中のメモを見て、どうしてその答えになるのか（特に、正しくない選択肢について、どの部分が正しくないのか）を確認してみましょう。また、選択肢の文章が長くて間違えてしまった場合は、意味が区切れる部分ごとに分け、本文との正誤を確認しましょう。

〔抜き出し問題〕

設問条件等を確認したうえでなぜその部分が答えになったのか再度確認しましょう。

〔記述問題〕

×の問題・空白にした問題は、メモを見ながらでもよいので取り組んでみましょう。

・宿題

解答の根拠や問題の条件等に線を引きながら解きましょう。また、間違えた問題の解説を、線を引きながら読みましょう。

【授業中に演習①・演習③を行ったクラス】

☆☆

・演習②の大問一

宿題と同様のやり方で解きましょう。

【授業中に演習②・演習③を行ったクラス】

☆（他教科の学習も終わらせて余裕がある場合のみ）

・演習①の大問一

宿題と同様のやり方で解きましょう。